

令和7年度 第4回 経営協議会議事録

日 時：令和8年1月20日（火）13時30分～14時55分

場 所：本部棟5階大会議室 ※Web会議併用

出席者：湊総長（議長）

天野委員、安藤委員、伊藤委員、岩井委員、上田委員、江上委員、島川委員、
多田委員、玉尾委員、出口委員、中西委員、平野（俊）委員、平野（信）委員、
松井委員、牧委員、町田委員、馬淵委員、森委員、山口委員

欠席者：波多野委員

オブザーバー：山口監事、吉貴監事

- 令和7年度第3回経営協議会の議事録（案）及び令和7年12月実施の書面審議の議事録（案）について、確認のうえ、原案どおり承認された。

【 議 事 】

1. 中期目標・中期計画の変更について

中期目標・中期計画の変更について、国立大学法人法の規定に基づき必要な手続を行うため、今回変更する内容について説明があり、審議の結果、了承された。

2. 令和8年4月の事務組織改編における支援組織体制について

令和8年4月の事務組織改編における支援組織の体制の検討状況及び方向性について説明があり、審議の結果、了承された。

委員による主な意見は次のとおり（○：質問・意見、●：説明・回答）

○：今回の組織改編で能率的に組織が動くことを期待している。

○：CFOの下に人事に関する組織が置かれているが、一般的にCFOは「財務」を司る役職であり、人事の組織を所掌することについて意図はどのようなものか。

●：大学のミッションである教育・研究に必要な経営資源を配分することがCFOの役割であると位置づけている。資源には、「カネ・スペース」に加えて「ヒト」も含まれると考えており、それらの経営資源を安定的に供給することを目的にCFOの下に整理している。

○：総合研究推進本部内の「技術部」とHRSOはどのように連携し、技術職員の支援・育成を行うのか。

●：これまで技術職員は各部局に点在していたが、現在は総合研究推進本部にまとめて所属している。技術職員は技術人材であり一般の業務支援人材とリクルート方法も異なるため、基本的には別ルートを想定している。

○：新しい組織や強化される組織があるが、全体として職員数は増えるのか。

●：国際卓越研究大学の計画に基づき、教員1人あたりの職員比率を引き上げる計画となっている。

○：総長の権限として一番重要なものは経営戦略であり、そのことを明確にすることが良く、総長のリーダーシップを発揮することのできる体系を作る必要がある。

●：非常に重要な点であり、より明確にしていきたいと考えている。

○：デパートメント制を導入するにあたり、既存の学部組織はどうなるのか。

●：学部・研究科は「教育組織」として存続する。これまで教育の単位をベース

に動いていた研究について、研究領域ごとの「デパートメント」という研究組織を設け、研究単位で動くようにするということが今回の改革の趣旨である。

【 報 告 】

1. 最高投資責任者（CIO：Chief Investment Officer）の任命について
最高投資責任者（CIO：Chief Investment Officer）を任命することについて、報告があった。
2. 令和8年度国立大学関係予算（案）等の本学への内示状況について
令和8年度国立大学関係予算（案）等の本学への内示状況について、報告があった。
3. 重要な財産（土地）の購入について
生態学研究センターが滋賀県より借り受けている土地を本学が購入することについて、報告があった。
4. 国際卓越研究大学について
国際卓越研究大学の審査の状況及び京大ビジョンの検討状況について説明し、意見交換を行った。